

【問い合わせ先】

海上保安庁交通部安全課

課長補佐 杉浦 毅

03-3591-6361（内線 6302）



平成 20 年 6 月 30 日

海 上 保 安 庁

平成 20 年安全功労者内閣総理大臣表彰について

（社）中部小型船安全協会に所属する鈴木正次（すずき しょうじ）氏が、海上安全指導員としての活動の功績により、「国民安全の日」にかかる安全功労者内閣総理大臣表彰を受賞することとなりました。

鈴木氏は、昭和 49 年から現在に至るまでの約 34 年間の永きにわたり、海上安全指導員として延べ 468 回（平成 20 年 4 月 1 日現在）の安全パトロール等を行うなど精力的に活動を行い、昭和 63 年からは主任海上安全指導員として地域活動の中心的な立場で他の海上安全指導員の指導に当たるなど、プレジャーボートの海難防止及び海上安全思想の普及・高揚に多大な貢献をされたことが認められたものです。

海上安全指導員の安全功労者内閣総理大臣表彰については、平成 11 年から連続して受賞しており、鈴木氏で 10 人目となります。

表彰式は、7 月 2 日（水）総理大臣官邸大ホールで執り行われる予定です。

- 鈴木正次氏について

住 所 愛知県
年 齢 71 歳

- 海上安全指導員について

管区海上保安本部長の指定を受け、小型船舶の海難防止とルール及びマナーの向上を図るために、地域と密着した安全活動を行うボランティアで、平成 19 年末現在、全国で 1,752 人が活動を行っています。

また、海上安全指導員が安全パトロールに使用する船舶を安全パトロール艇と言い、平成 19 年末現在、全国で 1,286 隻が指定されています。

海上安全指導員が行う活動には、海上での安全パトロール活動やマリナー等での安全指導のほか、海難防止講習会での講師など、海上保安庁が実施する小型船舶の海難防止対策の重要な一役を担っています。

平成 19 年には、全国の海上安全指導員により、36,052 隻のプレジャーボート（56,804 人のマリンレジャー愛好者）に対して安全指導が行われています。

- (社) 中部小型船安全協会について

愛知県及び三重県の沿岸海域において、プレジャーボート等の海難を防止するとともに、運航マナーの向上を図ることにより、安全で秩序ある海洋レクリエーションの普及と発展に寄与することを目的として、昭和 52 年に設立された社団法人です。

- 国民安全の日（7月1日）について

「国民安全の日」は、国民の一人一人がその生活のあらゆる面において、施設や行動の安全について反省を加え、安全確保に留意し、これを習慣化する気運を高め、産業災害、交通事故、火災等国民の日常生活の安全を脅かす災害の発生の防止を図るために創設されたものであり、毎年、地域での安全思想の普及・啓蒙などの活動に顕著な功績のあった個人又は団体に対し、内閣総理大臣から安全功労者表彰が授与されています。